

# 都市再生整備計画(第8回変更)

うえだじょうかまちちく  
上田城下町地区

ながのけん うえだし  
長野県 上田市

平成22年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	長野県	市町村名	うまだし 上田市	地区名	うまだしじょうかまちまなく 上田城下町地区	面積	795	ha
-------	-----	------	-------------	-----	--------------------------	----	-----	----

計画期間	平成	17	年度	～	平成	21	年度	交付期間	平成	17	年度	～	平成	21	年度
------	----	----	----	---	----	----	----	------	----	----	----	---	----	----	----

**目標**  
 歴史と自然を活かし、市民及び来訪者の利便性、快適性を高める都市基盤整備を図り、市民協働による中心市街地の再生を目指す。  
 ① 道路及び公共交通機関の交通体系を総合的に整備し、充実による利便性と快適性の向上  
 ② 市民協働による、中心性、求心性の高い市街地の再生  
 ③ 安全性の高い道路整備  
 ④ 水害に強く、安心安全なまちづくり

**目標設定の根拠**  
 まちづくりの経緯及び現況  
 ・上田市は信濃国府が置かれた地であり、上田城の城下町、北国街道の宿場町として繁栄するなど、その時代毎に重要な役割を果たしてきた。  
 ・現在でも文化財や歴史的建造物、道路形態が当時の面影を残し、中心市街地の骨格を形成している。  
 ・かつては30万人以上の商圏人口を抱え、東信地域の核都市としての役割を果たしてきた。  
 ・近年は車社会や市民生活の広域化、多様化などの社会情勢の影響を受け、市街地としての中心性や求心力が薄れ、地区の人口減少、既存商店街の空洞化が進み、その魅力が生かされていない状況である。  
 ・第三次上田市総合計画において、「中心市街地の整備」として、文化の香り高い魅力ある中心市街地を再生するために、上田駅周辺整備や基盤整備の充実などの基本計画を掲げ、その方向性が示された。  
 ・市街地の整備改善と商業等の活性化を一体的に推進するため、中心市街地活性化基本計画(H11)を策定した。  
 ・まちづくり総合支援事業において、上田駅お城口地区市街地再開発事業が平成15年度に完了した。  
 ・中央通りの無電柱化(H14完)、観光の核となる池波正太郎真田太平記館(H10)、などの事業を進めてきた。  
 ・上田市商業タウンマネージメント構想(TMO構想)に基づく、にぎわいあるまちづくりへの取り組みが進められているほか、NPO、市民のまちづくり参加への気運が高まり、まちづくり協議会、アダプトシステムの活動が進んでいる。  
 ・上田電鉄別所線は、利用者の減少による経営難から廃線の危機にあったため、当市は平成16年度、公的支援を決定した。  
 ・市街地より上流域の宅地化が進み、通水断面不足による水害が、過去10年において4回発生している。

**課題**  
 ・上信越自動車道の開通、北陸新幹線の開業により生じた高速交通の利便性を、地域の活性化に活用しきれていない。  
 ・環状道路を有機的に結び、中心部にアクセスしやすい上小30分交通圏確立のための道路網整備が図られていない。  
 ・中心市街地の空洞化により、賑わいがなくなっている。  
 ・上田城をはじめ、神社仏閣、歴史的な街並みを活かし、地域資源を結ぶ道路の充実が図られていない。  
 ・交流人口を高める、街中観光の推進が図られていない。  
 ・国道18号を中心に交通量が多く、交通渋滞、交通事故が慢性的になっている。  
 ・鉄道の利用促進を図るために、駅周辺に交流拠点等を整備し利便性を高めるとともに、安全性、快適性を高める設備を充実する必要がある。  
 ・流下能力の改善を図り、水害を減らし、生活の安全と安心な環境が確立されていない。

将来ビジョン(中長期)  
 「第三次上田市総合計画」  
 ・中心市街地の整備 ⇒ 基盤整備の充実・中心商店街の活性化  
 ・幹線道路網の整備 ⇒ 市街地骨格道路の整備  
 ・交通安全対策の推進 ⇒ 道路交通環境の整備  
 ・河川環境の整備 ⇒ 河川改修  
 「上田市中心市街地活性化基本計画」  
 ・上田市の顔としての中心市街地の再生  
 ・中心市街地を支える都市基盤の整備  
 ・複合的土地利用による魅力的市街地の形成  
 ・上田広域都市圏の中心交流拠点  
 ・歴史的景観資源を生かした中心市街地の再生

**目標を定量化する指標**

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
中心市街地商店街の歩行者数	人	上田市・上田市商工会議所で行う通行量調査による数値	利便性と、快適性を高める都市基盤整備を図ることにより、賑わいのある中心市街地の再生を目指す。	1,547	平成15年度	1,650	平成21年度
中心市街地商店街の空き店舗数	件	上田市・上田市商工会議所で行う空き店舗調査による数値	市街地としての中心性や求心力を高め、既存商店街の空洞化に歯止めをかける。	25	平成15年度	28	平成21年度
交通事故件数	件/年	中心市街地における交通事故件数	交通安全施設など生活空間の安全性を高め、事故件数の減少を目指す。	160	平成15年度	140	平成21年度
河川流下能力	m <sup>3</sup> /S	10年確率の降雨における河川の流下能力	水害に強いまちづくりを確立する	21.5	平成15年度	28	平成21年度
鉄道輸送人員	万人	上田電鉄別所線による年間延輸送人員	安定的で質の高い公共交通の整備	123	平成16年度	126	平成21年度

## 都市再生整備計画の整備方針等

### 計画区域の整備方針

道路及び公共交通機関の交通体系を総合的に整備し「利便性と快適性の向上」

- ・市街地への導入部として、駅環状道路及び幹線道路の整備をする。
  - ・上小30分交通圏確立のための道路を整備する。
  - ・交通環境や景観形成のための無電柱化を実施。
  - ・歴史的な街なみを残す環境にあわせた、道路整備を行う。
  - ・数多い史跡、文化施設、自然景観を歩行空間でつなぐウォーキングコースを整備する。
  - ・鉄道の安全性、快適性を高めるための設備投資に対して助成を行う。
  - ・駅周辺に交流拠点を設置することにより、鉄道の利用促進、利便性の向上を図る。
- 尚、地域交流拠点施設については、地域防災計画に広域避難場所として位置づけている。

方針に合致する主要な事業

- ・道路事業(基幹事業)
- ・高質空間形成施設(基幹事業)
- ・ウォーキングトレイル
- ・別所線再生支援事業(提案事業)
- ・しなの鉄道再生支援事業(提案事業)
- ・北向観音線無電柱化事業(提案事業)
- ・交通安全施設等整備事業(関連事業)
- ・街なみ環境整備事業(関連事業)
- ・公園事業(基幹事業)
- ・地域交流拠点整備事業(基幹事業)

市民協働による「中心性、求心性の高い市街地の再生」

- ・事業の企画段階より参加してもらい、市民協働によるまちづくりを推進する。
- ・歴史的な街なみを残す観光施設にあわせた、道路、景観整備を行う。
- ・千曲川遊歩道芝生広場と一体的な景観形成を図り、快適な道路環境を整備する。
- ・街なみ景観形成のための無電柱化を実施。
- ・ウォーキングコースと既存商店街等を結ぶ、観光ルートの案内看板の整備を行う。
- ・城下町上田ロマンウォーク、景観ウォーキング、健康ウォーキングのPRを行う。
- ・上田城跡公園の千本桜を観光資源とし、ライトアップ及び観光客誘致のPRを行う。
- ・TMOと連携し、地元商業者を中心とした市民参加によるにぎわいのあるまちづくりを推進する。
- ・空き店舗の情報を提供するとともに、チャレンジショップ、コミュニティー施設の整備を行う。
- ・市民の健康増進支援と世代間交流を促進する拠点整備をする。

- ・道路事業(基幹事業)
- ・高質空間形成施設(基幹事業)
- ・上田橋下堀線
- ・北向観音線無電柱化事業(提案事業)
- ・街なみ環境整備事業(関連事業)
- ・中心市街地観光推進事業(提案事業)
- ・ウォーキング支援事業(提案事業)
- ・上田城千本桜観光推進事業(提案事業)
- ・電線類地中化事業(関連事業)
- ・にぎわいのあるまちづくり事業(関連事業)
- ・TMO支援事業(関連事業)
- ・学生の街フラワーロード整備事業(提案事業)
- ・総合保健センター整備事業(提案事業)

「安全性の高い道路整備」

- ・駅環状道路と幹線道路を機能的に結び、上小30分交通圏の道路環境整備。
- ・駅環状道路へのアクセスを容易にし、円滑な交通を高める道路整備。
- ・狭少で危険な生活道路を拡幅または、新設により迂回させ、安全性の向上を図る道路整備。
- ・整備済みの安全なウォーキングコースをPRし、幅広い年齢層の参加を促進する。

- ・道路事業(基幹事業)
- ・交通安全施設等整備事業(関連事業)
- ・高質空間形成施設(基幹事業)
- ・電線類地中化事業(関連事業)
- ・街なみ環境整備事業(関連事業)
- ・ウォーキング支援事業(提案事業)

水害に強く、安心安全なまちづくり

- ・老朽化した空石積の護岸を再築する。
- ・河床を下げることにより、安全度が1/10となる河川断面を確保する。

- ・河川事業(基幹事業)

### その他

事業終了後の住民等による継続的なまちづくり活動の内容

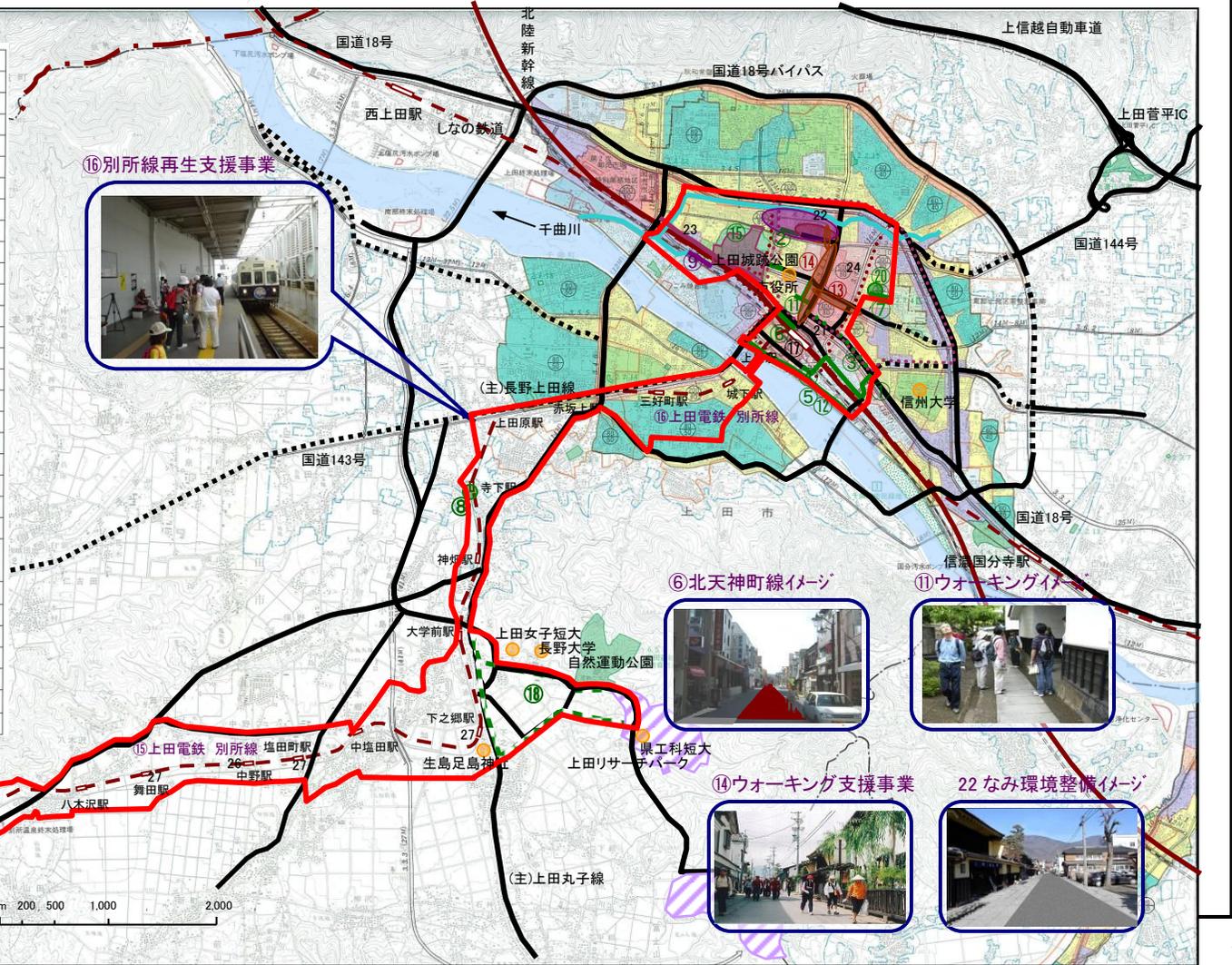
- ・アダプトシステム、景観協定等の認定を受け、自治会、まちづくり協議会等による継続的なまちづくり活動。
- ・まちづくり活動において、美化活動、植栽維持、清掃活動などを実施。
- ・人の集まる魅力的なイベント開催、運営につながる学習活動。
- ・住民ボランティアによる観光地ガイド。
- ・別所線再生支援協議会による沿道美化、鉄道利用促進活動。



# 上田城下町地区(長野県上田市) 整備方針概要図

目標	歴史と自然を活かし、市民及び来訪者の利便性、快適性を高める都市基盤整備を図り、市民協働による中心市街地の再生を目指す。	代表的な指標	中心市街地商店街の歩行者数 (人)	1,547 (15年度) →	1,650 (21年度)
			交通事故件数 (件/年)	160 (15年度) →	140 (21年度)
			鉄道輸送人員 (万人)	123 (15年度) →	126 (21年度)

番号	事業名	規模	事業主体
①	(市道)中常田小牧線	L= 308m W=16.0m	上田市
②	(市道)諏訪部伊勢山線(2)	L= 195m W=12.0m	〃
③	(市道)秋和踏入線(2)	L= 564m W=16.0m	〃
④	(市道)南天神町常田線(2)	L= 276m W=16.0m	〃
⑤	(市道)上田橋下堀線	L=1,180m W=10.25m	〃
⑥	(市道)北天神町線	L= 256m W= 7.0m	〃
⑦	(市道)材木町線	L= 265m W=10.75m	〃
⑧	(公園)神畑公園	A=4,900㎡	〃
⑨	(準用)前川	L= 330m	〃
⑩	地域交流拠点整備事業	A=13,740㎡	〃
⑪	(高質)ウォーキング	L= 440m W= 4.5m	〃
⑫	(高質)上田橋下堀線	L=1,080m W= 2.0m	〃
⑬	中心市街地観光推進事業	A=200ha	上田市
⑭	ウォーキング支援事業	2回×200人	〃
⑮	上田千本桜観光推進事業	1箇所	〃
⑯	別所線再生支援事業	設備投資・修繕工事一式	上田電鉄
⑰	しなの鉄道再生支援事業	上田駅ホーム高上一式	しなの鉄道
⑱	学生の街アワーロード整備事業	25団体	別所線支援協
⑲	北向観音線無電柱化事業	L= 50m W= 4.0m	上田市
⑳	総合保健センター整備事業	A=10,000㎡	上田市
21	電線類地中化事業	..... L=800m	長野県
22	街なみ環境整備事業	..... A=13ha	上田市
23	交通安全施設等整備事業	..... L=1,335m	〃
24	あんしん歩行エリア	..... A=180ha	〃
25	にぎわいのあるまちづくり・TMO支援事業	..... A=85ha	〃
25	別所線駅舎環境整備	別所線各駅舎	別所線期成同盟
26	中野駅パーキング駐車場整備	A=125㎡	別所線期成同盟
27	レンタサイクル事業	4箇所	別所線期成同盟



—	整備完了の主要な道路	—	—
.....	未整備の主要な道路	—	—
—	供用中の主要な排水路	—	—

# まちづくり交付金の客観的評価基準の確認シート

都道府県名	市町村名	地区名
長野県	上田市	上田城下町地区

## I. 目標の妥当性

①都市再生基本方針との適合等	チェック欄
1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。 (該当するものに○) ①. 中心市街地活性化 2. 防災 3. 少子高齢化 4. 人口定着 ⑤. 観光・交流 6. アメニティ ⑦. 交通利便性 8. 都市活力 9. 地域コミュニティ 10. その他	○
2) 上位計画等と整合性が確保されている。 (該当するものに○) ①. 市町村総合計画 2. 都道府県長期計画 3. 都市再生緊急整備地域 4. 構造改革特別区域 5. 地域再生計画 6. 全国都市再生モデル調査 7. 被災市街地 ⑧. 中心市街地活性化計画 9. その他(地域防災計画)	○
②地域の課題への対応	チェック欄
1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標を設定している。	○
2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置付けが高い。	○

## II. 計画の効果・効率性

③目標と事業内容の整合性等	チェック欄
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
5) 地域資源の活用やハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
④事業の効果	チェック欄
1) 十分な事業効果が確認されている	○
2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○

## III. 計画の実現可能性

⑤地元の熱意	チェック欄
1) まちづくりに向けた機運がある。	○
2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
⑦円滑な事業執行の環境	チェック欄
1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2) 交付期間中の計画管理（モニタリング）を実施する予定である。	○
3) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○

### 【記入要領】

- ・都市再生整備計画の記載内容が、確認シートの各項目に該当する場合は、チェック欄に○を記入する。
- ・(該当するものに○)の項目は、都市再生整備計画の記載内容が該当する項目の番号を○で囲む。